

(表1) 令和3年度 動物実験における計画数及び使用動物数

	実験計画数	不実施計画数	マウス	ラット	ウサギ	スナネズミ	モルモット	ハムスター	マーモセット	ニホンザル	アカゲザル	カキウザル	テナガザル	イヌ	ネコ	ブタ	ヒツジ	件
																		匹、頭など 【注1】(ニワトリ胚)
人間科学研究科	5	5	2 112	3 147														
理学研究科	8	0	7 1,568		1 1													
医学系研究科	361	82	283 49,920	92 3,909	20 430		1 21	2 59	3 20	1 11	7 21	12 48		1 0	1 0	16 86	1 26	
医学系研究科 (保健学専攻)	20	1	18 1,111	4 80			1 20											
歯学研究科	92	13	64 5,912	26 1,161			1 0							3 12				
薬学研究科	38	3	38 13,430	6 460														
工学研究科	10	5	5 131	4 189														
基礎工学研究科	7	1	6 247															
生命機能研究科	30	2	15 16,758	2 57						8 35	1 1	1 2						1 660
微生物病研究所	74	17	68 30,600	2 170	1 14	2 134	1 18	8 1,166										
産業科学研究所	4	2	4 94															
蛋白質研究所	6	0	6 3,470															
免疫学フロンティア 研究センター	21	1	21 30,844					1 21										
合計	676	132	537 154,197	139 6,173	22 445	2 134	4 59	11 1,246	3 20	9 46	8 22	13 50	0 0	4 12	1 0	16 86	1 26	1 660

表1に、大阪大学の教員が動物実験責任者として行った外部研究機関等での実験・飼育を含む。

動物園動物や伴侶動物を対象とした日常場面での行動観察研究は表1には含まず、実験終了時に殺処分を伴わないことを前提とした実験に関しては表2に示す。

表1の使用動物数は、殺処分の有無に関わらず当該年度中に動物実験に供した動物数を計上している。

【注1】動物実験規程には含まれない動物種であるが、研究者から報告された使用数。

(表2) 行動・認知・生態調査を目的とする殺処分を伴わないことを前提とした研究

	実験計画数	不実施計画数	マーモセット	ニホンザル	アカゲザル	カクイザル	テナガザル	ゴリラ	ネコ	ニシゴリラ	シロ テナガザル	マサイキリン	ウマ	チンパンジー	ホッキョクグマ	カリフォルニア アシカ	単	件
																	位	匹、頭など
人間科学研究科	17	0		2【注1】 8【注3】 2148				1【注2】 8		1【注2】 3	1【注1】 1	1【注2】 56	1【注5】 44	1【注2】 12	1【注2】 2	1【注2】 5	1【注2】 9	
理学研究科																		
医学系研究科																		
医学系研究科 (保健学専攻)																		
歯学研究科																		
薬学研究科																		
工学研究科																		
基礎工学研究科																		
生命機能研究科																		
微生物病研究所																		
産業科学研究所																		
蛋白質研究所																		
免疫学フロンティア 研究センター																		
合計	17	0		2【注1】 8【注3】 2148				1【注2】 8		1【注2】 3	1【注1】 1	1【注2】 56	1【注5】 44	1【注2】 12	1【注2】 2	1【注2】 5	1【注2】 9	

【注1】飼育霊長類を対象とした行動・認知研究

【注2】動物園動物を対象とした行動・認知研究

【注3】野生ニホンザルに対する行動研究または一時的捕獲を伴う生態調査研究

【注4】伴侶動物を対象とした行動・認知研究

【注5】その他両生類や魚類等を対象とした行動・認知研究